

## 貿易投資円滑化支援事業(専門家派遣)

2008年7月2日  
日本貿易振興機構

案件名	実施期間	国名	専門家派遣時期・規模	平成19年度実施事業内容
環境基準遵守(産業排水)・改善協力プログラム (ゴム産業環境管理体制構築支援)	H18～20年度	インドネシア	①H19.6.4～7.1(1名) ②H19.11.5～12.2(1名)	・環境概念(臭気)、活性汚泥の設計、運転管理、臭気対策の研修用テキスト(インドネシア語版)を作成した。 ・テキストを使って6月、11月にそれぞれ約1ヶ月をかけ北スマトラ及び南スマトラの2ブロックずつ臭気対策についてのOJT指導及び活性汚泥装置の設計、最適運転管理指導を実施。 ・研修テキストの内容を基に研修受講者の中心メンバーがゴム産業向けEPCMテキストを作成した。
LCA&エコデザイン推進体制基盤構築支援	H17～19年度	タイ	①H19.7.15～19(1名) ②H19.10.30～11.3(1名) ③H19.11.11～11.15(1名) ④H19.11.25～11.29(1名) ⑤H20.2.3～2.7(2名) ⑥H20.2.17～2.21(1名)	平成18年度までの成果を踏まえ、LCIデータベース構築をさらに推進するため、以下を実施した。 ・石油精製、石油化学、天然ガス分野において、18年度の成果に基づき蓄積すべきデータの収集方法のレビュー、結果のチェック・検証に関する指導。 ・新たに鉄・非鉄、建築関連製品等の産業に対するLCI等のデータ収集、データベースの構築に関する技術指導
LCA制度構築支援	H17～19年度	マレーシア	①H19.8.12～8.18(2名) ②H19.11.25～12.22(1名) ③H20.1.19～1.24(4名)	・LCI DBの検証と指導及びタイプⅢ環境ラベルの指導を実施した。 ・マレーシアLCI DBの検証と研究者の指導を実施した。 ・マレーシア2都市(トレンガヌ、スバンジャヤ)において開催したLCAセミナーにて、LCAの世界動向、日本におけるLCAの普及活動、日本の産業界における活用事例などの講演を実施した。
省エネルギー制度導入協力プログラム	H17～19年度	フィリピン	①H19.8.27～9.13(3名) ②H19.11.11～11.24(2名) ③H20.2.10～2.21(3名)	鑄造業界に対して指導の継続とフォローアップにより成功事例を着実に作成し、セミナーとワークショップを通じ省エネを推進するためのネットワーク作りを進め、フィリピン側で自主的に省エネ活動が推進できるような基盤(体制・仕組)の構築を図った。平成18年度に選定されたパイロット工場における省エネ推進活動に関するフォローを通じ成功事例を抽出させた。また、1.新たに選定されたパイロット工場において現地専門家候補生自身による自主判断能力を育成、2.当該業界における省エネルギー推進のためのエネルギー管理標準の策定に向けた体制整備を支援した。なお、エネルギー診断の初期活動の成果、改善提案等情報の共有化を推進させ、基礎データベース作成に向けた体制の構築を支援した。
省エネガイドライン構築支援	H18～20年度	マレーシア	①H19.7.30～8.4(3名) ②H19.12.2～12.8(3名)	・マレーシアエネルギーセンター(PTM=Pusat Tenaga Malaysia)の会長及びエネルギー・水・通信省の局長が臨席の下、完成した電気エネルギー機器の省エネガイドラインの紹介セミナーを開催した。当ガイドラインの検証に協力することになった3社(バームオイル、タイヤ、紙・パルプ工場)と検証方法について協議した。次に作成する熱エネルギー機器の省エネガイドラインについて指導した。 ・電気エネルギーのガイドラインのパイロット工場による検証結果に基づく指導と熱エネルギーのガイドライン作成の指導を行った。
省エネルギー普及推進体制構築支援	H18～20年度	タイ	①H19.6.3～6.20(3名) ②H19.8.26～9.8(3名) ③H20.1.14～1.26(3名)	4つのモデル工場(食品3、繊維1)を対象に ・第1回専門家派遣:食品3工場の省エネ診断を通じたOJTによる指導。 ・第2回専門家派遣:繊維1工場のOJTでの省エネ診断による指導、第1回派遣の診断に対する食品3工場の改善フォローアップ、及びタイ専門家(トレーナー)作成の診断マニュアル案のレビューを行った。 ・第3回専門家派遣:第2回派遣の繊維1工場の改善結果のフォローアップ、平成20年度活動のモデル工場候補(食品2、繊維2)に対する予備調査、普及セミナー、診断マニュアルレビュー、及び本事業と連携して2月に実施予定のAOTS研修の準備指導を行った。
ハノイ地区の産業廃棄物処理体制の強化	H18～20年度	ベトナム	①H19.7.29～8.8(3名) ②H19.10.7～10.17(4名) ③H20.1.13～22(4名)	ハノイ近郊の特定工業団地において産廃物の適正データ化の手法を指導することにより、信頼性のある産廃物統計データの構築手法を習得させるとともに、合計3回の短期専門家派遣を通じて、問題の大きい汚泥、廃油、可燃産廃物の適正処理に関する指導を下記のスケジュールで実施した。 ・平成19年7月 工業団地における廃棄物のデータ管理・ハンドリング手法の指導及び可燃産廃の適正処理に関する指導 ・平成19年10月 工業団地における廃棄物のデータ管理・ハンドリング手法の追加指導及び汚泥・廃液処理の適正処理に関する指導。 ・平成20年1月 工業団地における廃棄物のデータ管理・ハンドリング手法、廃油の適正処理、汚泥、廃水の適正処理法に関するOJT指導。
セメント産業の省エネ・環境管理能力向上支援	H19～21年度	中国	①H20.1.20～1.25(2名)	中国セメント協会、中国建築材料協会等に対して、CO2プロトコルの構成、入力方法、活用方法等について技術的な指導や育成を行った。